

1-1【新規事業・アイデア】

整理番号	提案委員	地域課題	地域課題に対する解決策	自治協として 関わられる事・ 関わりたい事	経過等	担当 部会	担当 課	担当課の考え方
1	坂井委員	<p>【支え合いの仕組みづくりについて】</p> <p>本格的な高齢化社会を迎え、「<u>地域での支え合いの仕組みづくり</u>」が求められてきますが、<u>地域でそれに応える力が逆に失われてきています</u>。行政が求めているものと現実の自治会の状況が大きくかけ離れているように感じます。今のままだと<u>自治会の活動が継続できなくなっていくのではないのでしょうか</u>。大都市では、自治会の加入率が低下しており、役員のなり手がいないということがどこでも問題となっています。</p>	<p>区役所も、<u>現実</u>に地域活動を担っている自治会の役員の本音の意見を聴くことが必要ではないでしょうか。</p> <p>これは福祉関係の一部局の取組みでなく、区役所全職員が当たり、全自治会の状況をつかむくらいの覚悟が必要だと思えます。</p> <p>西区にも頑張っている取組みがあります。これを全地域に広げるためには、自治協・コミ協と区役所が知恵と力を合わせることが必要です。「支え合いの仕組みづくり」は、自治会単位で造ることが必要です。「支え合いの仕組みづくり」を第2層の地域包括支援センター単位から、コミ協・自治会単位まで深める事業に取組みたい。</p>	<p>実際の自治会の状況を区職員にわかしてもらおうこと。</p>	新規	第2部会	健康福祉課 地域課	<p>【支え合いのしくみづくり】</p> <p>○西区では、昨年度、全てのコミュニティ協議会の区政懇談会の場で、「生活支援サービス」や「地域の茶の間」の事業内容をはじめ、取組事例などを紹介したほか、「地域の茶の間」の交流会を2回開催し、必要性や取組などの情報交換を行い、「支え合いのしくみづくり」の理解の促進と取組みを進めてきました。</p> <p>○また、西区内の4つの日常生活圏域ごとに設置している「支え合いのしくみづくり推進員」が、地域の社会資源の把握や地域課題の抽出をはじめ、自治会やコミュニティ協議会などの会合に参加するなど、4圏域で計162回、啓発等の取組みを行ってきました。</p> <p>○こうした取組みを通して、地域の皆様のご理解とご協力により、昨年度では「地域の茶の間」の新規開設が10か所、週1回開催への拡充が6か所の実績に繋がっており、「支え合いのしくみづくり」の必要性と取組みは、着実に地域に広まってきているものと考えています。</p> <p>○今年度においても、引き続き区政懇談会での説明・紹介に加え、今後は研修会や交流会のほか、「茶の間の学校」の開催を予定しており、さらなる必要性の理解と取組みを進めていきます。</p> <p>○さらに来年度は、研修会や交流会を実施するほか、支え合い活動の先行団体の事例紹介などを盛り込んだパンフレットの作成や、視察研修の実施を検討しています。</p> <p>○西区といたしましても、委員の言われるとおり、「支え合いのしくみづくり」の取組みは、地域に根差した単位で進めていくことが重要であると考えており、これまで、コミュニティ協議会や自治会等の皆様を対象として、理解の促進や支援を行ってきています。</p> <p>○今後も引き続き、コミュニティ協議会や自治会単位など、身近な地域での実施につながるよう、区や支え合いのしくみづくり推進員が、地域の課題解決のお手伝いや、取組みのさらなる拡大に向け取り組んでいきます。</p> <p>【地域の担い手育成】</p> <p>○自治会の担い手不足については、区政懇談会などの場でも地域課題として声をお寄せいただいております。西区はもとより全市的・全国的な課題であると承知しています。</p> <p>○区の人材育成の取組みとしては、「西区区ビジョンまちづくり計画」の中で、「コミュニティ活動に参画する人材の育成」を掲げ、次世代の人材の育成を目的とした区づくり事業「西区地域盛り上げ隊」を実施しているほか、平成29年度には西区まちづくり講演会において、テーマの1つとして「次世代の地域活動への参加(例:お祭り)」が少ないことを取り上げています。</p> <p>○また、平成30年3月末から5月にかけて、転入者に「区だよりの自治会特集号」を配布し、自治会活動の理解促進と加入促進に努めているほか、「自治会町内会ハンドブック」で取組み例を紹介しています。</p> <p>○こうした区独自で実施する取組みに加え、自治協議会と協働で実施する、より効果的な取組みについて、自治協議会提案事業の検討の中で一緒に検討させていただきたいと考えています。</p>
2	坂井委員	<p>【西区産業振興会議の設立】</p> <p>産業の衰退</p>	<p>多くの業者団体・区民の参加で、<u>西区の産業を振興することを目的に西区産業振興会議を立ち上げます</u>。</p> <p>今までは、産業振興は市全体の課題だから、区ではできないとの回答でした。他の政令市で、区役所に産業についての部局を備えているところはありません。区で産業振興を議論し取組むというのは新しい挑戦なのです。</p>	<p>第3部会が振興会議に参加する。自治協委員も勉強が求められます。</p>	再提案	第3部会	農政商工課	<p>○本市では市全体の産業活性化を図るため、関係団体と意見交換などをしながら「新潟市中小企業・小規模事業者活性化プラン」を定め、「にいがた未来ビジョン」及び「区ビジョン」に基づいた施策を展開しています。</p> <p>○さらに、経済部では、「新潟市中小企業振興基本条例第15条(関係者との協働)」に基づき、商工会議所、商工会、新潟県中小企業家同友会などの団体と意見交換を行い、産業振興の推進を図っています。</p> <p>○その上で西区では、区特有の課題への対応を協議・検討するため、商工会やJA等の関係者と幾つかの協議会を設置し産業振興を進めています。</p>

整理番号	提案委員	地域課題	地域課題に対する解決策	自治協として 関わられる事・ 関わりたい事	経過 等	担当 部会	担当 課	担当課の考え方
3	高橋伸絵 委員	【西区一斉クリーンデーに防犯意識を呼びかける】 目の行き届いた街、手入れされている美しい街は、防犯の面でも人々を守ります。	西区一斉クリーンデーに防犯の意識も呼びかけます。 街を見つめ、美しく、安全な街にする日とします。 清掃しながら通学路を親子で見つめる日とします。	パンフレットで呼びかけます。 クリーンデー参加者に「蛍光バッチ」「簡易なホイッスル」などを配ってはどうでしょうか。	新規	第1部会	区民生 生活課 総務課 教育支 援セン ター	○パンフレット裏面を啓発用に活用することは有効であると考えられるため、来年度実施に向けて準備を進めていきます。 ○なお、啓発品については、既にコミ協、自治会、PTA、交通安全協会等が配布し、取組みを進めているところもあるため、一律に配布することは考えておりません。
4	佐野委員	【地域の支え合いのしくみづくり「除雪編」&健康スポーツプロジェクト「スポーツ雪かき」の薦め】 昨年の冬は大雪で多くの方が不自由な思いをされました。 雪かきは本当に大変ですが、この負のイメージを払拭し、視点を変えて前向きなスポーツとして取り入れたいかがででしょうか。	豪雪地帯では既にスポーツ雪かき大会として行われている地域もあります。 ポイント制のボランティア+雪イベントとして事業展開できたらいいと思います。 具体的には、町内の雪かき、バス停の雪かき、通学路の雪かき、学校の周辺の雪かき等に一定のポイントを付与し、その後雪合戦等のイベントを開き、雪かきポイントと合わせて競う、というような楽しみにつなげていきたいと思います。 また、雪かきの時の正しい体の使い方を学ぶ教室も事前に開催し、体を痛めないよう気をつけることも大切です。 冬の運動不足を解消し、地域交流、健康増進にも寄与できるのではないのでしょうか。		新規	第2部会	健康福 祉課 地域課	○西区でも昨年度のように大雪が降る年もあるため、区民が雪かきによって腰痛やひざ痛などを引き起こすことがないように、その取組は大切であるため、今後、冬場の「にしチャレ」などの健康づくり講座などで、ストレッチや筋トレなどの内容充実を検討していきます。 ○また、「雪かき」をスポーツという視点でとらえ、「冬場の健康づくり」としての側面からアプローチすることは、逆転の発想で面白いアイデアであると思います。 今後、除雪のあり方の検討を進めていく中で、自治協の皆様と議論を深めていきます。
5	渡邊正友 委員	【特殊詐欺被害防止について】 新潟市の防犯発生状況によると1月から5月末時点で、“犯罪”件数が昨年より1,945件で214件減少しています。“特殊詐欺”については被害件数18件で5件減少にありますが、被害額約4,810万円と昨年度より1,047万円の増加が見られます。 西区は新潟市の中でも、“特殊詐欺”の被害額が多いです。	今後の対策として、この事実を常に区民の皆さんに知っていただくため、これまで以上の広報誌活用(連載で)を提案したいです。 また、受話器を取ると啓発ステッカーが起き上がるステッカーなどの啓発物品を各家庭に配布したいです。 更に、“振込み詐欺、悪質商法撃退のための通話録音装置の貸与”事業を西区独自に検討してはいかがでしょうか。		新規	第1部会	総務課	○特殊詐欺の被害防止対策は大切であると考えておりますが、啓発品の配布や機器の貸与ですと対象者が限定されることもあり、より幅広く「電話に出ないこと(留守番電話に設定すること)」「市販の通話録音装置を活用すること」などの周知、呼びかけの徹底が有効であると考えています。 ○区役所では、区だより以外にも、防犯用に「安心安全ニュース」を作成、自治会を通じて全戸回覧し、地域に防犯情報をお届けするという取り組みも行っています。 ○なお、区だよりでは、これまでも特集を組むなどの重点的な啓発に努めており、引き続き、ご提案の連載などを含め、より効果的な紙面作成に取り組んでいきます。

1-2【新規事業・ご意見】

整理番号	提案委員	地域課題	地域課題に対する解決策	自治協として 関われる事・ 関わりたい事	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1	坂井委員	<p>【介護保険から新潟市の総合事業への移行後の検証】</p> <p>新潟市も要支援1・2の方たちへの支援が、すべて新潟市の総合事業に移されました。</p> <p>また、2017年の改定では見送られた要介護1・2の方の総合事業への移行が、次の2020年の改定で行われようとしています。介護保険の中に、「要介護度の変化率」を「財政的インセンティブ」として、交付金を与える仕組みが作られました。</p> <p>「大東元気でまっせ体操」を普及させ、介護度を軽減させた先進と評価された大阪府大東市では、介護保険制度卒業の強制があったと大きな問題になっています。</p> <p>高齢者が増え、介護保険加入者の平均年齢も高くなっていくのですから、介護の必要性が高くなっていくのは当然のことです。</p> <p>新潟市の健康寿命の延伸という中に、介護保険からの強制的な卒業が入らないか心配です。篠田市長は、「当面は希望すれば今まで通りのサービスは提供する。それは緩和したサービスAや住民主体のサービスBの体制ができるまで」と述べておられました。そうすると、新潟市も介護予防を徹底し、介護保険卒業を目指すのでしょうか。</p> <p>よく「財源がない」という話を聞きますが、国民みんなが勤勉に働く日本人の生活水準が以前より苦しくなるということは、本来ありえないと思います。</p>	<p>市の総合事業への移行がすべて終わった段階で、<u>介護認定度の変化がどうだったか明らかにして議論をする場を設けてほしい</u>と思います。</p>	<p>介護度の変化の状況などを資料として行政から提供してもらい、自治協の本部や第2部会で議論したい。</p>	再提案	第2部会	健康福祉課	<p>○総合事業も含めた介護保険制度については、全市的な制度であることから、福祉部が所管する「介護保険事業等運営委員会」において、給付実績等の報告や、新潟市地域包括ケア計画(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)の進捗管理を行っています。</p> <p>○いただいたご意見・内容につきましては、本庁担当課にお伝えしますが、資料の提供の必要性などにつきましては、西区自治協議会においてご検討いただくようお願いいたします。</p>

2-1【既存事業・区企画事業ご意見】

整理番号	提案委員	平成30年度 区企画・自治協提案事業への意見 (連携や見直しなど)	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1	坂井委員	<p>【支え合いの仕組みづくりの周知について】</p> <p>「支え合いの仕組みづくり」を区民に理解してもらう研修会を開催していますが、私が所属している自治会役員には、そのような機会もなかったですし、呼びかけられたこともありません。</p> <p>「今区役所から求めているようなことは絶対できません」と言うと思います。</p> <p>それでも、話し合い、くじ引きなどではなく、納得して自主的に役員になった人たちです。</p> <p>このような自治会役員ですらそういう状況ですから、<u>一般区民は「支え合いの仕組みづくり」と言っても、何のことかよくわからないのではない</u>でしょうか。</p>	新規	第2部会	健康福祉課	<p>○区だよりや区政懇談会の場を活用した理解の促進、支え合いのしくみづくり推進員の自治会等への訪問・支援、さらには地域の皆様のご理解とご協力により、支え合いのしくみづくりの必要性は着実に広まり、地域の茶の間の開設・拡充に繋がっていると考えています。</p> <p>○しかし一方で、地域では委員のご意見の通り、「そもそも支え合いのしくみづくりとは何か」、「実施に向けた検討手法」、「担い手の発掘」等が課題との意見も聞いています。</p> <p>○区では今年度、自治会などの皆様を対象として、先進事例の紹介や、地域での検討手法、新たな担い手の発掘などの課題解決に向けた「支え合いのしくみづくり研修会」や「茶の間の交流会」のほか、「茶の間の学校」の開催も予定しています。</p> <p>○さらに来年度は、研修会や交流会を実施するほか、支え合い活動の先行団体の事例紹介などを盛り込んだパンフレットの作成や、視察研修の実施を検討しています。</p> <p>○こうした取り組みにより、周知と理解の促進を着実に進め、地域での「支え合いのしくみづくり」に繋がるよう、支援していきます。</p> <p>なお、皆様からも機会を捉えて、「支え合いのしくみづくり」の必要性につきまして、周知いただけますよう、引き続きご協力をお願いします。</p>

2-2【既存事業・自治協提案事業ご意見】

整理番号	提案委員	平成30年度 区企画・自治協提案事業への意見 (連携や見直しなど)	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1	坂井委員	<p>【西区特産物・観光地カレンダーの継続】</p> <p>事業を行って4年が過ぎましたが、継続していきたいです。 (参考:平成27年度～平成30年度実施)</p>	H30実施中	第3部会	地域課 農政商工課	<p>○皆様の努力や4年間の継続実施により、西区の特産物や観光地などのご紹介は一通りできたと考えておりますが、さらなる事業の継続につきましては、自治協の皆様でご議論をお願いします。</p>
2	坂井委員	<p>【商店街活性化研究・実践事業継続・発展】</p> <p>まだ目に見える成果を上げるまでに至っていないので、継続してほしいです。 (参考:平成28年度、平成29年度実施)</p>	H28・29実施	第3部会	農政商工課	<p>○西区では、平成26年度に内野町・黒埼地域を区域指定した「西区拠点商業活性化推進事業計画」を策定し、具体的な取り組みとして、各地域のまつりや、茶豆、いもジェンヌの活用などを商工会やJAなど関係者が一体となって進めています。</p> <p>○さらに、地元商店主・学生・商工会・区等をメンバーとしたワーキング会議で商店街を含めた地域活性化に取り組んでおり、いくつかの活動が芽生えてきています。</p> <p>○このように商店街の活性化は、まずは地元商店主等、関係者が中心となって商店街を元気にする取り組みを行うことが必要と考えています。</p> <p>○西区としましても、様々な立場の人たちが一体となり、商店街を元気にする取り組みが加速するよう、引き続き支援してまいります。</p>

2-3【既存事業・その他ご意見】

整理番号	提案委員	平成30年度 区企画・自治協提案事業への意見 (連携や見直しなど)	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1	小林邦太郎委員	<p>全ての課題が急速に良くなるとは思えませんが、地道に活動したいと思います。</p>	—	—	—	—